

事業名：アートな島 野島プロジェクト

動地域：防府市野島地域

山口県立大学国際文化学部企画デザイン研究室学生

(水谷教授)

活動の目的	「茜島」の美しさをアートで発信
活動地域	防府市野島地域
活動期間	令和元年6月16日(日)～令和2年3月28日(土)
活動内容	茜島の愛称を持つ野島の魅力や美しさをアートとして発信するための研究活動として、野島の地域資源を調査するとともに、茜染めのワークショップを開催などにより、野島の特産品の開発に向けた小物のデザイン及び試作や、サロンのインテリアを提案した。

活動状況①

6月16日、研究室学生14名が野島を訪問し、島の地域資源を調査した結果、茜島の愛称を持つ野島のイメージをアートで表現するため、茜染めの研究を進めることを決定した。



船で野島に向かう



野島資料館

活動状況②

6月25日、大学において、防府市にある藍染工房「草衣so-i」の大道氏を招き、茜染めのワークショップを開催した。



染色液で染める



媒染液に浸ける



ゴムで縛って模様をつける



色々な模様の布

活動状況③

7月21日、野島において、6月25日に制作した茜染めを島民に紹介し古民家を視察、今後の展望を話し合った。



活動状況④

11月6日、学生10名が漁村センターにおいて、茜染めのワークショップや、大漁旗などを使ったのれんや巾着袋の開発に取り組んだ。島民10名が参加し、各自持ち寄ったエプロンなどを茜色に染めて楽しんだ。



「茜染め」のワークショップ

「茜染め」の試作品



活動状況⑤

11月6日、ワークショップの様子
野島漁村センターの1階で茜染め、2階で巾着などの袋の制作をした。



大漁旗を利用して「のれん」を試作



「きんちゃく袋」を試作

活動状況⑥

1月31日から2月3日まで、山口芸術情報センターで開催された国際文化学部地域デザイン展において、サロンにおける特産品開発に向け、茜染めの布や大漁旗などを利用して制作した、がま口、巾着、あづま袋などの小物やのれんを展示・発表した。



大漁旗を使ったのれん



がま口



巾着



あづま袋

活動状況⑦

2月14日、県社会福祉会館で開催された中山間地域づくり収穫のつどいに参加するとともに、茜染めや大漁旗を利用した小物など、特産品開発に向けた試作品を展示・発表した。

あづま袋



がま口



巾着



参加学生



大漁旗を使ったのれん